
カタオモイ

優季

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カタオモイ

【Nコード】

N7396H

【作者名】

優季

【あらすじ】

幼稚園から中学生まで恋した、私の物語。

恋は幼稚園から。でも遠距離恋愛。

小学5年で新しい好きな人ができた。私は芹原優希^{せじはのゆき}。

恋をしなかった期間は2ヵ月。

幼稚園で亮くん^{りょうくん}を、小学生で荻野宙^{おぎのひろ}を好きになった。

でも彼は、すごいイケメンでモテモテ！

噂では友達の本郷未祐^{ほんさとみゆう}の事が好き。未祐は物凄い美女だから噂がたつのもしょうがない。

中学生になる少し前、私は思い切り宙に突っ走った。でも、なかなかダメで、未祐は男子と仲が良いから

私とは大抵、宙のタイプと離れてると思う。

あるハプニングで、1回宙を諦めようとした。

そしたら未祐からメールがあつて

「実はうちも宙がすき！」

いきなりのメールで泣いた。1日中泣きまわった。

だから、逆に頑張ろうと思った。

未祐は、宙を諦めて新しい好きな人ができた。

だからお互いクリスマスプレゼントで

クッキーを作つて、告白する、と決めた。

頑張つてクッキーを作つて、デイズニールランドのお土産と手紙をつけて渡した。

しばらく日にちがたって返事がきた。

ダメだった。でも、諦めない。

そんな気持ちが突き動かした物語。

中学生になってクラスも離れた。学校でも有名な位のカップル。未祐と宙だ。2人は結ばれた。

「まあ、美男美女だし、仕方ないか…。」

未祐は天然だから、みんな未祐に惚れる。

「優季！今度の学園祭で、歌コンテストあるんだって。うちでてみようかな？」

未祐が言う。でも未祐は音痴というより、音が外れてる。なら、私だって！

コンテストの時、私はみんなの歓声をもらった。しかも優勝！一番嬉しかったのは宙からの告白。

「一緒に付き合ってくんない？ 未祐は捨てるから。」

それがいやだった。だから、返事は

「うっん、いいや。だから未祐は大切にして。」

1人でいいや！

そしたら、ずっと私はあなたの

カタオモイ人だからね！

終わり

（後書き）

初めて書いたもので、話は短いですが、どうかご理解下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7396h/>

カタオモイ

2010年10月11日02時57分発行